

関係各位

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会  
(事務局：J A 福岡中央会 担い手・営農サポートセンター)  
(公 印 省 略)

## 営農情報15

# 大豆のカメムシ類防除と収穫ロス・汚損粒軽減について

本年の大豆は、6月末からの断続的な降雨により主な播種時期が7月末～8月上旬と大幅に遅れ、8月の干ばつも影響し、茎長が短くなっています。さらに、台風9、10号による暴風雨の影響によって、一部のほ場で倒伏がみられます。このため、莢の着く位置が平年より低くなっています。

大豆の吸実性カメムシ類の発生は平年並みではありますが、一部発生の多いほ場もみられます。

今後、カメムシ類の発生状況の把握に努め、的確な防除を図るとともに、着莢位置が低い大豆を収穫するにあたり、収穫ロス・汚損粒の発生軽減へ向けた取り組みを行いまししょう。

### 大豆のカメムシ類防除で注意すべき事項

- カメムシ類による子実被害は収穫期まで続くので、必ずほ場での発生状況の把握に努める。
- ミナミアオカメムシは例年9月下旬～10月上旬にかけて発生量が急増するので、発生状況には十分注意する。
- カメムシ類の防除は、開花期後25～30日頃に実施する。また、発生が多い場合は追加防除を行う。
- 薬剤散布を行う場合には、薬剤が着莢部によくかかるように丁寧に散布する。
- カメムシ類は広範囲に移動するので、広域に一斉防除することで効果が高い。

表 大豆の開花期（目安）

播種時期	開花期
7月16日	8月25日
7月30日	9月3日
8月6日	9月7日

### 収穫ロス・汚損粒の発生軽減へ向けた取り組み

- 着莢位置が低いと収穫ロスが多くなり、泥をかみやすく、汚損粒が発生する。
- 着莢位置が低い、もしくは倒伏している大豆を収穫する際は、「リフターキット」を装着し、刈取部への取込みを良くし、収穫ロスの軽減を図る。
- コンバインによる収穫開始適期は、茎を手で折ると軽くポキッと折れる状態（茎水分50%以下、子実水分18%以下）で刈り取る。
- 茎水分の高い朝・夕や露のある時は、絶対に刈り取りをしない。
- 汚損粒の発生防止のため、青立ち株や大型雑草は、収穫前にはほ場から除去する。
- 収穫前にラウンドアップマックスロードの全面散布をしない。



写真 リフターキット

以上